

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンター ら・フロレゾン		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月19日		～ 令和 8年 2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (19) ※うち1名(1家族)は兄妹利用。	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月19日		～ 令和 8年 2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・午前療育では、給食提供を行っている。食事、歯磨き、着替えといった身辺自立の取得に向け、支援を行う機会が持てる。	・給食では、野菜が苦手なお子さまも多いため、好きなものや苦手なものを把握しながら支援にあたり、食事の幅を広げられるように支援している。 ・「食べられた！」といった達成感を味わえるよう、食事量などについて職員間で共有しながら支援を行っている。 ・歯磨き、着替えは、絵カードや環境を整えるなどの支援を行い、自立に向けそれぞれの取り組み方を一つずつ教えている。	・特性や発達段階に合わせて小集団での支援を行い、成功体験が積める場として、職員の観察力やスキルアップを行っている。 ・家庭や園の先生方とも共通理解に努め、長期的・継続的な支援をそれぞれの場で行いながら、お子様の身辺自立の定着をみんなで支えていく。
2	・放課後等デイサービスも行っているため、就学後も継続した支援が行える。	・就学のタイミングでも慣れ親しんだ事業所で過ごすことができ、職員も顔見知りの関係から切れ目のない支援を行える。	・放課後等デイサービスへ移行する子どもたちが継続的、また必要な日数が保証されるよう、スペースの確保や人員配置などの検討が必要になってくる。
3	・「夏まつり」と「もちつき大会」を実施。ご家族、きょうだい児の参加だけでなく、地域の方にもお声かけさせていただいてる。	・季節のイベントを計画、実施。 ・地域の方にもお声かけさせていただくことで、事業所を知っていただける機会にもつながる。	・内容の充実を行いながら、より多くの方々に参加していただき、事業所での取り組みなどを知っていただく機会にしていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育士・児童指導員を配置しているが、専門職である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による介入が行えていない。	・職員の配置が難しい。	・遊びの中で身体や手指の動きについて観察を行い、医療機関でのリハビリを勧めたり、そこでいただいた助言を療育利用時に反映していく。
2	・非常時の対応について、保護者の方への周知が不十分だった。	・火災や地震の避難訓練を行っていますが、保護者の方への周知・説明が十分にできていませんでした。	・保護者の方への周知方法について、よりよい方法を検討させていただきます。安心感を持って利用できるような努めていきます。
3	・成人施設と同じ給食メニューのため、子ども向けではない献立の時がある。	・法人内の近隣事業所の給食を一つの事業所で行うようになった。(一つの事業所が、給食センターとしての役割を行うことに変更)	・管理栄養士とは密にかかわり、子どもたちの食事状況などを伝えていく。可能な範囲で献立を変更したり、食べやすい味付けに変えたりし、献立作成時の段階から検討していく。